

自ら率先して学ぶ子どもを育てるために



主体的な学びを支える取組

学校という場で日々学んでいる子どもたち。その学びをより実りあるものにしていくためには、子どもたち自身が、目の前の対象に対して、「知りたい!」「調べたい!」という気持ちを持つことが大事です。言わば「学びの原動力」が必要です。子どもたちが率先して学びに向かうよう、日々、学校では工夫をしています。その取組についてご紹介します。



学習支援室の活用

学習支援室は、「わかる・できる経験」を積み重ねられるように、一人一人の教育的ニーズに応じた学習環境を整えるために設置されたものです。学習支援室活用推進教員が配置され、個別指導を担当しています。

主に国語や算数・数学、英語に関係する学習を行っています。一人一人に合ったペースや学び方で学習し、子どもたちの困り感の解消に努めています。

学習支援室を活用した学習については、他の授業が行われているときに、同時に個別で行うため、担任との連携が必要です。ご利用の際は、お子様の担任にご相談ください。



◀学校によって独自の名前をつけ、親しみやすい教室として活用しています(舞浜小)

小学校高学年における教科担任制の推進



▲5年1組担任が5年3組で社会科
(日の出南小)



▲5年2組担任が5年1組で理科
(日の出南小)



▲専科教員が5年2組で家庭科
(日の出南小)

教員の専門性を生かしたわかりやすい授業を行い、学習意欲の向上を図ることや、より多くの教員が子ども一人一人を指導することにより、子どもたちを多面的に理解し、一人一人の個性を伸ばすことが期待できます。中学校では当たり前の光景ですが、小学生のうちこのような形に慣れておくことはとても意味のあることです。

ICTの効果的な活用

GIGAスクール構想※により、全校児童生徒に配備されたタブレットを活用した授業を展開しています。日頃訪れることのできない場所をオンラインで見学したり、全体で集まっては見られないものを個別に見たりと、ICT機器を有効活用し、よりよい学習につなげています。



▲市議会議場と教室をオンラインで結び見学し、議員に質問をする（見明川小）▲



▲図工の授業。教師が撮影している手元の様子を、それぞれの端末で見る（高洲小）

※GIGAスクール構想…文部科学省主導による、全国の児童・生徒1人に1台のコンピューターと高速ネットワークを整備する取組。

算数 少人数教育の充実



▲2クラスを3クラスに分けて少人数で学習する（浦安小）▲



▲習熟度別に分かれ、少人数で学習する（舞浜小）

担任や学年・教科支援教員等で少人数の形態を工夫し、よりわかる授業・できる授業を推進しています。少人数指導や習熟度別指導など、学校の実態に合わせ、きめ細かく指導しています。

小学校 外国語教育の充実

小学校では1年生から外国語教育を行っています。1・2年生は隔週1時間程度、3・4年生は週1時間、5・6年生は週2時間実施しています。担任や専科教員、ALTなどが協力し授業を進めています。また、大学とも連携して研修を行い、教員の指導力の向上にも努めています。



▲ALTとコミュニケーションをとる（浦安小）



▲オンラインによる教員向け外国語学習の研修。浦安市、横手市、いわき市、妙高市、足立区を結び、全国の先生方と共に学ぶ（明海小体育館）